

百花繚乱

東広島市立八本松小学校学年通信

第6学年 令和8年10月8日 NO.11

前期が終了します！

前期には、修学旅行や運動会をはじめとする数々の行事がありました。子供たちは一つひとつの経験を通して、クラスや学年としての団結力を深めてきました。また最高学年として、1年生のお世話や登校班の班長、委員会活動など、様々な場面で頼もしく活躍してくれました。

保護者の皆様には、日頃より温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、子どもたちも安心して挑戦し、成長することができた前期となりました。

個人懇談でお渡しする「あゆみ」をご覧いただき、ぜひお子さんの成長や頑張りをたくさん褒めてあげてください。その温かい声掛けが、後期への大きなステップアップにつながるはずです。

後期には、「いにしえの響」の発表や持久走大会など、自ら目標をもって取り組む行事が控えています。学校のリーダーとしてみんなのお手本になれるよう、子どもたちとともに実り多き後期にしたいと思います。

後期もどうぞよろしくお願いいたします。

秋休みについて

10月10日(土)～10月14日(水)は、秋休みです。

後期の始まりは、**10月15日(木)**です。

【秋休みの宿題】

- ①プロフィールの下書き ②百花繚乱カード
- ③いにしえ(口唱和・リコーダー)

※時間割は各クラス違いますので、クラスルームを確認して準備をしましょう。

※13時10分学年下校

10月16日(金)までに提出

- ・あゆみ袋
- ・修学旅行写真代

※希望される方
(おつりがないように、
代金を添えて、テープ
等で封をする。)

お願い

5日間の秋休みに入ります。ご家庭で過ごす時間が増えるのに伴い、スマートフォンやSNSの利用時間が増えることが懸念されます。

学校では毎月「防犯・SNS指導」を行い、「ネットの約束」「個人情報」「肖像権・著作権」などについて指導を重ねております。しかし残念ながら、6年生の間でもSNSに関するトラブルが依然として発生しているのが現状です。

子供たちはまだ判断力を養っている途中で、自分では気づかないうちに被害者にも加害者にもなってしまうことがあります。SNSを利用する以上リスクはゼロにはなりません。学校でも引き続き指導を行ってまいります。お子さんがトラブルに巻き込まれず安全に過ごせるよう、ぜひこの秋休みの機会に、ご家庭でもSNS等の利用について確認をお願いいたします。

◆ SNS等の利用について確認いただきたいポイント

- ・ 利用時間や利用場所のルール（夜間の使用や利用時間の見直し）
- ・ 相手を傷つける言葉や写真の送信・投稿の禁止
- ・ トラブルが起きた際の相談（困ったらすぐに大人に話すこと）

学校とご家庭が連携してお子さんを守っていただければと考えております。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

10月の諸費のお知らせ

10月分の集金	
漢字のカスキル下刊	520 円
算数ドリル 下刊	520 円
英語テスト 下刊	490 円
社会テスト 下刊	590 円
綿ハチマキ	120 円
合計	2,240 円

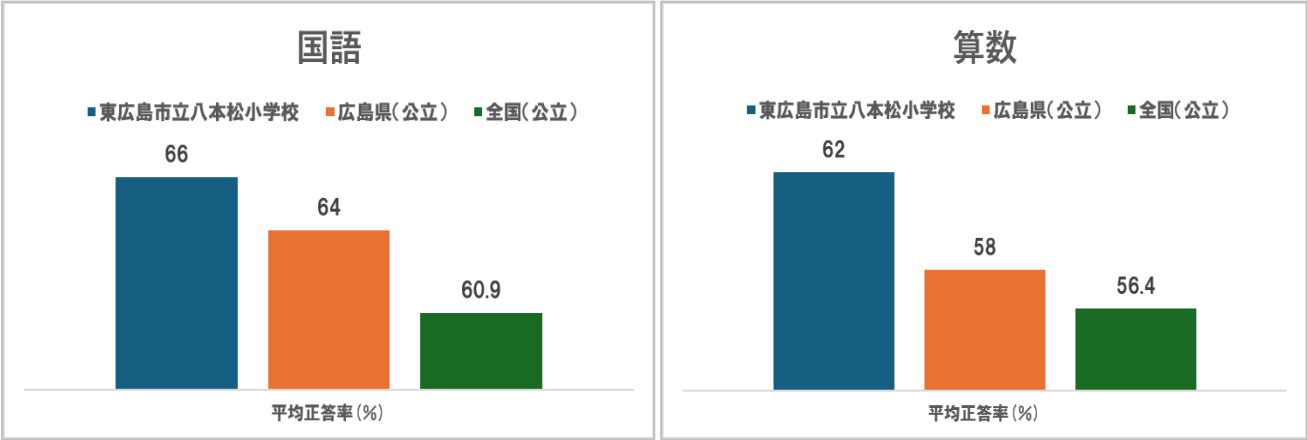
21日(木)が
諸費引落日です。
よろしくお願いいたします。
諸費再引落日は
30日(金)です。

全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年4月に全国学力学習状況調査を行いました。これは、これまでの児童の学力の定着状況を把握し、課題を分析して今後の学習指導に生かすためのものです。本校におきましては、国語科・算数科ともに全国平均および広島県平均を上回る結果となり、これまでの日々の学習や取組の成果が子どもたちの学力としてしっかりと表れています。

一方で明確になった課題につきましても原因を分析し、より確かな学力の定着に向けて現在全校で改善に取り組んでおります。以下に、調査結果の概要と主な課題、および本校の現在の取組についてご報告いたします。

【国語科・算数科調査結果】



【児童質問調査結果】

質問内容	八本松小	東広島市	広島県	全国
国語の授業の内容はよく分かりますか。	86.0%	83.5%	81.7%	81.5%
国語の勉強は得意ですか。	69.0%	64.6%	60.6%	60.4%
算数の授業の内容はよく分かりますか。	76.0%	79.6%	77.4%	77.5%
算数の勉強は得意ですか。	62.0%	63.8%	60.5%	60.1%
英語の勉強は好きですか	76.0%	70.2%	66.9%	66.7%
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	67.0%	78.7%	81.0%	81.5%
学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	63.0%	78.4%	77.4%	77.3%
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか。	75.0%	83.2%	81.9%	80.8%

【課題及び現在の取組】

	課題	現在の取組
国語科	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる力。	・へんやつくりといった漢字の構成など、漢字の形から意味を想像する活動を通して、漢字の表意文字としての特徴やそのよさに気付けるようにする。 ・同音異義語の語句や漢字を調べ、その意味を比べる活動を通して、字義の理解や漢字を使うことのよさを実感できるようにする。
	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる力。	・自分の考えが伝わるように引用して書いている文章と、引用して書いていない文章を読み比べ、「どちらの文章がより良いか」という視点で考えさせることで、引用することの意義や、引用するときに大事なことを理解することができるようにする。
	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができる力。	・「書くこと」の学習において、情報と情報との関係について理解する指導を単元の中で計画的に位置付ける。そして、書いた文章について、教師や友達と交流したり、読み手の立場に立って振り返ったりする機会を設定し、集めた情報と自分の伝えたいこととの関係や妥当性を吟味することができるようにする。
算数科	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つのうちどちらの方が混んでいるのかについて判断する力。	・図や数直線を活用し、「1㎡あたりの人数」などの意味を視覚的に捉えさせる。単に式を立てるだけでなく、得られた商の大小と混み具合の関係を理由とともに説明する活動を充実させ、混み具合を比較する力の定着を図る。
	異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述する力。	・デジタル教材を活用し、図や数直線を動的に表現することで、「単位分数の何個分」を視覚的に捉えさせる。単位分数同士の大小を比較させる活動を通して、分子が同じなら分母が小さい方が大きくなることを理解させる。
	二次元の表から、条件に合う数を読み取る力。	・二次元表を「指でなぞる」「枠で囲む」等の活動を通して、縦と横が交差する場所が何を意味しているのかを説明できるようにする。
児童質問調査	・意見を出し合い、比較することはできるが、それぞれの意見のよさを生かしてよりよい考えを創り出すには至っていない。 ・話合いの決定事項を踏まえ、「自分には何ができるか」を具体的に考えられていない。	・考えの共通点や相違点を整理する場を設けたり、友達の意見のよさを取り入れて自分の考えを見直したりする時間を積極的に取り入れ、協働的によりよい考えを創り出す話し合い活動を進める。 ・話し合ったことをもとに、「自分には何ができるか」を考え、表現する活動を積極的に取り入れる。
	・授業で学んだことが実生活に結びついていることを、実感できていない。 ・授業で学んだことと実生活とのつながりを意識させる手立てや環境設定が十分でない。	・単元の終末に、「学習した内容が日常生活のどんな場面で使うことができるか」について振り返る時間を取る。 ・学習と日常生活の事象を結び付け、楽しみながら考えられる学習環境づくりを行い、学びと日常生活とのつながりを意識させる。

